

盆棚の飾り方・お供え物

生花

仏様に対して感謝の気持ちをこめて贈ります。

牛馬

仏様が極楽浄土とこの世を行き来するための乗り物です。精霊が馬に乗ってこの世に早く帰り、牛に乗って(名残惜しむように)ゆっくり戻ると、精霊が馬に乗り、荷物を牛に乗せるという説があります。

敷物

盆棚の上に金襴の布や白い敷物を敷き、その上にお供え物を乗せます。

お堂

盆棚の一番上に、白木のお位牌を置きます。

高杯

供え物であるつみだんご等を置きます。

ハスの葉

キュウリとなすを細の目に切った洗米で混ぜたもの(水の子)を供えます。

かわらけ

かわらけ(素焼きの陶器)の上に、牛馬のご飯としてそうめん等を供えます。

盆ちょうちん

仏様がこの世に帰ってくるための目印です。

水向け

茶碗に水を入れ南天・みそはぎの葉等を置きます。僧侶がお経を読む時に使います。

経机(きょうづくえ)

ろうそく、線香、りん等を置きます。

い草の座布団

僧侶やお客さまが来た時のために用意します。

カゴ盛

仏様に対して感謝の気持ちをこめて贈ります。

まこも

まこもを敷いて、その上にハスの葉、かわらけ、牛馬を乗せます。

吊りちょうちん

吊りちょうちんは“迎えちょうちん”ともいいます。軒下か玄関に吊るします。初盆では何も模様が入っていない白ちょうちんを吊りますが、現在は模様が入ったものを利用するお宅も多くなりました。

たいまつ

玄関近くで炊きます。13日に“迎え火”を、15日に“送り火”を焚きます。*たいまつが消化するまで火から離れないようにしましょう。

霊供膳

霊供膳をお供えします。*宗派によって並べ方が異なりますので、詳しくはやまきの販売スタッフまでお尋ねください。

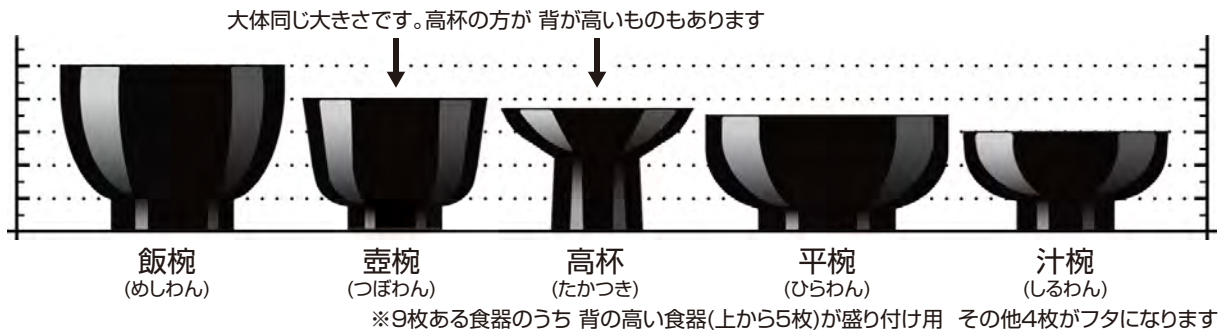
箸の向き

食事をするのは仏様なので、箸は位牌側に置いてください。



霊供膳について

器の背の高さ



飯椀 (めしわん)	ご飯を供えるための器です。炊き立てのご飯を、きれいに丸く高く盛り付けます。
壺椀 (つぼわん)	煮豆や和え物、酢の物などを供えるための器です。
高杯 (たかつき)	白菜やキュウリなどのお漬物、塩もみ、ぬか漬け、梅干しなどを供えるための器です。
平椀 (ひらわん)	煮物を供えるための器です。
汁椀 (しるわん)	みそ汁やお吸い物を供えるための器です。

※注意 お料理は全て 植物性(野菜や豆腐等)を使ってください。動物性(魚や肉等)は使ってはいけません!

各宗派の並べ方

※お膳の向きに注意

お供え物を正しく配置した後、箸の置いてある面を仏様側(御本尊や位牌のある奥側)に向けてください。
お食事をするのは仏様であることを忘れず!

真言宗・日蓮宗・天台宗・法華宗

〈箸を奥側に置いたとき〉

飯椀(ご飯) … 右奥 高杯(漬物) … 中央 壺椀(煮豆) … 左手前
汁椀(汁物) … 左奥 平椀(煮物) … 右手前



浄土宗

〈箸を奥側に置いたとき〉

飯椀(ご飯) … 右奥 高杯(漬物) … 中央 壺椀(煮豆) … 右手前
汁椀(汁物) … 左奥 平椀(煮物) … 左手前



臨済宗・曹洞宗

〈箸を奥側に置いたとき〉

飯椀(ご飯) … 右奥 高杯(漬物) … 左手前 壺椀(煮豆) … 中央
汁椀(汁物) … 左奥 平椀(煮物) … 右手前

